

ここから、はじめる。 ここから、はじまる。

弥生・自然体験型拠点施設事業の撤回を求めます。

金澤市政のもとで進めようとしていた弥生の自然体験型拠点施設整備事業には、破綻した第三セクター「弘前リゾート開発(株)」の負債の肩代わりではないかという指摘があります。この事業には既に5億9千万円が跡地の購入に充てられ、再び金澤市政が続くことになれば、新たに18億円の事業費が投入され、自然体験のための施設と称された岩木山ろくの大規模開発が行われます。私たちは、金澤市政において計画されたこの無駄の多い不明瞭な事業計画を撤回し、調査委員会を設置して事業の進め方が適正であったかを検証するよう求めています。

新・弘前市に徹底した情報公開と、市民参加・協働の実現を求めます。

私たち市民の多くは、第三セクターが抱える負債がどれほどなのかを知りません。駅前のダイエー撤退では50億とも言われる巨額の処理をどうするのか、結論は出ていません。弥生の問題にしても、今回の合併がどういう経緯で三市町村合併となったのかの説明も、私たちはまともに受けていません。説明責任を果たさず、情報も公開せずに、いつの間にか市民の税金が投入される。14年間にわたる金澤市政を断ち切らなくては、新市に未来はありません。私たちは、新たな市政に、徹底した情報公開と市民参加・協働の開かれた市政の実現を求めています。

私たちは箱物事業優先の市政から、くらしと福祉優先の安心できる市政への転換を求めます。

国や県の財政も厳しくなるなか、これまでのように箱物事業で急場をしのぐやり方では必要なところにお金がまわりません。介護保険制度改悪、障害者自立支援法の施行など、みんなの負担がどんどん膨らんでいきます。新・弘前市では少子高齢化が急速に進み、新しい命をあずかる産科医・小児科医の確保が厳しくなっています。更に、救急医療体制も輪番制の崩壊が市民生活に大きな不安を与えています。しかし、金澤市政は対応を怠り、責任を果たしてきませんでした。私たちは、くらしと福祉を優先する安心できる市政への転換を求めています。

新・弘前市を創る会

事務局：〒036-8064 青森県弘前市東城北1-2-22
TEL: 0172-35-6039 FAX: 0172-34-1239

私たちも応援します

マニフェストを提案する弘前市民の会
弘前市を考える会
ひろさき市民ネットワーク21